世界性の健康デー（WSHD）公開フォーラム・関西性教育研修セミナー2011 夏・文部科学省「大学生の就業力育成支援」事業

学校のなかの性的マイノリティ

―教育現場における排除と包摂―

9月4日は、世界性の健康デー（World Sexual Health Day）です。今年のテーマ「若者の性の健康： 権利と責任のわかちあい」（Youth's Sexual Health: Shared Rights and Responsibilities）にあわせ、「学校のなかの性的マイノリティ：教育現場における排除と包摂」と題した公開フォーラムを企画しました。おしゃれや恋愛に目覚める思春期は、一般にも、他者や帰属する集団からの承認によって得られる自己肯定感が下がり、精神的に不安定になる時期だと言われています。講師の日高庸晴氏は、厚生労働省エイズ対策研究事業の一環として数多くの研究を実施しておられます。研究結果の一部は『ゲイ・バイセクシュアル男性の健康レポート』として刊行しており、当日は、マスコミにも取り上げられた「ゲイ・バイセクシャル 6000 人調査 半数がいじめ被害」（朝日新聞 2007 年9月9日）などの調査結果に基づき、教育・保健医療・福祉・メンタルヘルスの専門家に対するさまざまな提言を行っていただきます。

事例報告のセッションでは、現役教師であり、セクシュアルマイノリティ教職員ネットワーク副代表の土肥いつき氏をコメンテーターに迎え、教育現場でどのような取り組みがなされているかについてご紹介しつつ、参加者のみなさんと活発な意見交換につなげたいと思っております。専門職者のみならず、学生や保護者など、興味関心のある皆様に多数ご参加いただける内容になっていますので、お知り合いにもお声をかけていただき、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

東優子（大阪府立大学）・野坂祐子（大阪教育大学）・榎本てる子（関西学院大学）

Photo: Getty Images

PROGRAM

13:30〜13:45
開会の挨拶・「世界性の健康デー」について
大阪府立大学人間社会学部・教授　東　優子

13:45〜15:15
若者の性的指向と健康問題：
学校保健で見落とされがちな視点について
講師　宝塚大学看護学部・准教授　日高　庸晴

15:15〜16:00
休憩

16:00〜17:00
事例報告＆ディスカッション
コメンテーター　京都府立高校・教諭　土肥いつき

参加無料

2011年9月4日(日)

開場 13:00　参加無料・事前申し込み不要

会場： K.G.ハブスクエア 1004 室（関西学院大学大阪梅田キャンパス）
大阪府大阪市北区茶屋町 19-19 アプローズタワー10 階
TEL　06-6485-5611　※場所の問い合わせのみ

お問い合わせ先： higashi@sw.osakafu-u.ac.jp
（ご返事は必ずいたします。ただし携帯メールの場合、こちらからの返事が受信拒否されることがありますので、あらかじめご了承ください。）

主催3団体：

WAS WORLD ASSOCIATION FOR SEXUAL HEALTH
世界性の健康学会（旧・世界性科学学会）「世界性の健康デー」実行委員会
http://www.worldsexology.org/

OSAKA PREFECTURE UNIVERSITY 子育て教育系 キャリア・コラボ力育成 就業力GP
大阪府立大学「子育て教育系キャリア・コラボ力育成」
http://www.opu-collabo.com/

関西性教育研修セミナー実行委員会

協賛
JASE THE JAPANESE ASSOCIATION FOR SEX EDUCATION 財団法人 日本性教育協会

後援（予定）
大阪ユネスコスクール（ASPnet）ネットワーク、他